

基礎Ⅰ

# リフレクシブ研修



## “さんりーな”で運動会

基礎Ⅰ担当 西村容子

基礎Ⅰコースは、スローガンを「反応しよう」（種から芽を出そう）と掲げ看護技術・援助の振り返りができ、自分の考えをスタッフに伝えられることを目標としています。看護の振り返りは「月例報告書」や宿泊研修を通して促し



H18.7.13 さんりーなにて

ています。また看護技術の習得については「看護技術のあゆみ」に各部署の特殊な技術を含めプリセプターが関わり進めています。一年目看護師も就職して4ヶ月が経ちました。受持ち患者を持ち、夜勤もこなし日々緊張の面持ちで頑張っています。先日、リフレクシブ研修に参加し緊張の糸を少しほぐしました。“さんりーな”で行われた研修はミニ運動会から始まりました。3チーム対抗戦で風船運びや、五人六脚などをしました。それぞれ作戦を真剣な顔で練っていました。どのチームもチームワーク良く、汗をかき満面の笑顔で参加していました。久しぶりに同期に会え、楽しく良い汗を流せたとの声が聞かれました。またグループワークでは、自分の悩みや思いを伝えあい、お互いに共感することができたと振り返っています。身も心もリフレクシブし、また明日から笑顔で患者様に接する事ができそうですね。

# 看護部長熱く語る

## 看護部は病院の要…?!

看護部長 松井とも子

皆さん、こんにちは。厳しい幕明けとなった平成十八年度も、早や半年が過ぎようとしています。日頃の看護部の皆様方の頑張りに、本当に感謝しています。たった半年、されど半年、で様々な事があり、毎日が学びの日々です。病院は今、大きな転機を迎えようとしています。診療報酬改定、看護配置基準変更、医師不足等々乗り越える課題は大きなものがありますが、このことに立ち向かう組織となれるかどうか試されているとも言えます。私は四月に、柳の様になややかで強い看護部でありたいと願いました。今、目の前の人に自分が出来ることをやる、私達一人一人が、看護へのやりがい感を持ち、遂行に責任を持つこと、その積み重ねが組織を強くしていくことだと思っています。上から言われたから“とか”今までこうだったから“ではなく、自分達が

生き生き出来る場を自らの手で作りあげていける、そんな職場でありたいですね。問題・課題は栄養剤。押し潰されない為に仲間がいると信じあっています。自分分を或いは自分の家族を、安心して任せることの出来る病院”と誰もが胸を張って言える病院作りを目指しませんか。一緒に!!



松井看護部長 部長室にて